

令和6年度第2回岩手県企業局経営評価委員会 議事録

令和6年11月22日(金) 15時15分 から 16時00分 まで
岩手教育会館カンファレンスルーム 200

次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 委員長選出
- 4 議 題
 - (1) 令和6年度上半期の経営評価について
 - (2) その他(企業局事業の動向について情報提供)
- 5 閉 会

所 属		氏 名
委員長	一関工業高等専門学校	あかし なおゆき 明石 尚之
委 員	いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社	あべ えいこ 阿部 瑛子
〃	早稲田大学水循環システム研究所 株式会社群馬東部水道サービス	なみかわ すずむ 濤川 進
〃	国立大学法人岩手大学	わたなべ あさみ 渡部 あさみ
〃	盛岡ガス株式会社	わたなべ のりお 渡邊 憲郎
企業局	局長	なかさと ひろみ 中里 裕美
〃	技監兼技師長	むらかみ としひろ 村上 敏弘
〃 (経営総務室)	特命参事兼管理課長	まつもと さとる 松本 哲
〃	予算経理担当課長	さきき のぞみ 佐々木 のぞみ
〃 (業務課)	総括課長	いとう たかゆき 伊藤 隆行
〃	事業担当課長	すがわら ひであき 菅原 英明
〃	電気担当 主任主査	おいかわ たつや 及川 達也
〃	土木・施設担当課長	こにし たつや 小西 達哉
〃 (施設総合管理所)	施設総合管理所長	たかはし ひろし 高橋 浩
〃 (県南施設管理所)	県南施設管理所長	むろつき あつし 室月 敦
事務局	経営総務室 経営企画課長	しらい たかあき 白井 孝明
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	きくち ともや 菊池 智也
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	かわぐち たくみ 川口 拓実

(委員 50 音順 敬称略)

(発言者)

(発言内容)

【 1 開 会 】

白井 皆様、大変長らくお待たせいたしました。
経営企画課長 定刻となりましたので、ただいまから、令和6年度第2回岩手県企業局
経営評価委員会を開催いたします。
本日、暫時、進行役を務めさせていただきます経営企画課長の白井で
ございます。どうぞよろしくお願いいたします。
本会議は、基本的に公開として開催することとしており、ホームページ
等でも掲載しているところですのでよろしくお願いいたします。
それでは、お手元の次第により、進行して参りたいと存じます。開会に
当たりまして、企業局長の中里よりご挨拶申し上げます。

【 2 挨拶 】

中里局長 企業局長を務めている中里裕美と申します。どうぞよろしくお願いいた
します。
皆様、本日はお忙しいところ、午前から現地のご視察を頂きまして、ま
た、この委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。
この委員会も、8月から新しい任期となり、今回はその1回目となりま
す。ご再任頂いた委員の皆様、それから、新たに委員をお引き受け頂いた
渡部あさみ委員と渡邊憲郎委員におかれましては、改めて御礼申し上げた
と思います。誠にありがとうございます。
まず、企業局の上半期の取り組みの主なものを私から簡単にご紹介させ
て頂きます。電気事業でございますが、4月から、新たな電力供給契約が
開始されました。本日皆様にもご視察頂いた県内自動車産業への電力供給
が開始されところでございます。微力ではございますが、本県自動車産業
の発展と脱炭素化に貢献できていると考えております。
工業用水道事業でございますが、こちら本日もご視察頂きました新北上
浄水場は、昨年度から水の供給を開始しているところですが、まだ整備は
続いておりまして、新北上浄水場建設(第二期)工事の土木工事が順調に
進捗しているところでございます。なお、物価高騰などの影響により、経
営の方はなかなか厳しい状況が続いておりますが、ユーザー企業の動向な
どを丁寧に把握、そして注視しながら、適正な収入が得られるように努め
て参りたいと考えているところでございます。
本日は、令和6年度上半期の経営評価について、皆様のご意見をいた
くこととしております。委員の皆様におかれましては、様々な視点から、
忌憚のないご意見を頂戴できればと思っておりますのでどうぞよろしく
お願いいたします。
簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。どうぞよろ
しくお願いいたします。

白井
経営企画課長

今回は、委員改選後、初の委員会でございますので、議事に先立ち、私の方から委員各位及び当局幹部職員のご紹介をさせていただきます。

それでは、五十音順に委員のご紹介をさせていただきます。

まず初めに、明石尚之委員でございます。一関工業高等専門学校 未来創造工学科 電気・電子系の特任教授を務められております。担当されている授業は、電気法規・電気施設管理、センシング工学、電気磁気学などで、超音波工学、材料評価を専門とされておられます。4期目のご就任でございます。

次に、阿部瑛子委員でございます。株式会社岩手銀行に入行後、一般財団法人岩手経済研究所を経て、いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社へご出向されております。現在は、経営支援部にてマネジャーを務められております。2期目のご就任でございます。

次に、濤川進委員でございます。株式会社明電舎において数々の水道事業の民間委託を経験され、ご退職後は、早稲田大学 総合研究機構 水循環システム研究所 の招聘研究員に就任されております。また、令和4年度からは、株式会社群馬東部水道サービスの代表取締役社長を務められております。3期目のご就任でございます。

次に、新たにご就任いただきました渡部あさみ委員でございます。岩手大学人文社会科学部にて准教授を務められております。ご専門は経営学、人的資源管理であり、学生には、経営学などをご指導されております。また、県の労働委員会、県民の幸福感に関する分析部会にて委員を務められております。

同じく、新たにご就任いただきました渡邊憲郎委員でございます。盛岡ガス株式会社にて取締役総務部長を務められております。当局と同じエネルギー供給事業者として、エネルギー供給を通じた地域の発展に貢献されております。また、いわて復興パワー水力プレミアムにご加入頂くなど、事業活動の脱炭素化による環境負荷低減にもご尽力されております。以上、5名の委員の皆様をご紹介させていただきました。

続きまして、企業局の職員をご紹介いたします。紹介された職員は、起立して一礼をお願いします。

技監兼技師長の村上敏弘でございます。

次長兼経営総務室長の浅沼は、本日所要のため欠席しております。

経営総務室 特命参事兼管理課長の松本哲でございます。

経営総務室 予算経理担当課長の佐々木のぞみでございます。

業務課総括課長の伊藤隆行でございます。

業務課 事業担当課長の菅原英明でございます。

業務課 電気課長の三尾ですが、本日所要につき欠席しております。代理出席している、業務課 電気担当 主任主査の及川達也でございます。

業務課 土木・施設担当課長の小西達哉でございます。

施設総合管理所長の高橋浩でございます。

県南施設管理所長の室月敦でございます。

以上、よろしくお願ひいたします。

【 3 委員長選出 】

白井 経営企画課長 それでは議事に入りたいと存じますが、今回の委員改選により、現在委員長が不在ですので、委員長選出まで、引き続き進行役を務めさせていただきます。

委員長の選出につきましては、参考資料1 岩手県企業局経営評価委員会設置要領 第4条 第1項に規定のとおり、委員の互選とされているところでございます。つきましては、委員長候補者をどのように選出するかお諮りしたいと思います。ご意見はございますでしょうか。

(意見等なし)

ご意見ございませんようでしたら、事務局に一任いただければ、事務局から案をお示ししたいと存じますがいかがでしょうか。

全委員 異議なし。

白井 経営企画課長 事務局に一任頂いたということで事務局の案をお示しいたします。委員長には、一関工業高等専門学校特任教授の『明石委員』をご推薦したいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

白井 経営企画課長 全員の賛成がありましたので、明石委員が委員長に選任されました。明石委員長は、委員長席にご移動をお願いいたします。それでは、これ以降の議事進行につきましては、明石委員長をお願いいたします。

【 4 議 題 】

(1) 令和6年度上半期の経営評価について

明石委員長 委員長となりました明石です。よろしくお願ひします。
事務局から配布されているタイムスケジュールに沿って進めますので、議事進行にご協力をお願いいたします。
それでは、「令和6年度上半期の経営評価」について審議を行います。事務局から説明をお願いいたします。

令和6年度上半期の経営評価について

経営企画担当菊池主任主査が下記資料に基づき、説明を行った。

資料1 令和6年度上半期 取組状況の総括

資料2 令和6年度上半期 経営評価総括表

明石委員長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等はございませんか。

濤川委員 工業用水道事業の新北上浄水場第二期工事で地域産業基盤整備推進交付金の交付を受けたという内容もごございますが、新北上浄水場の第二期工事というのはかなり前に発注されていると思います。交付金の制度ができましたのが令和6年1月26日というふうに書いてございますが、まず1つはこういった、現在施工中のものにも交付金をもらえるケースがあるのかということと、さらにどの範囲に、何パーセントの交付率で交付金がもられたか、この2点について教えていただければと思います。

菅原
事業担当課長 濤川委員に御指摘いただいたとおり、地域産業基盤整備推進交付金につ

きまして、制度は今年の1月に創設されたところでございます。
制度を所管しております内閣府及び経済産業省と調整を図り、要望させていただき段階、あるいは実際に交付計画等を申請させていただき段階で、基本的にはその交付決定後に工事を行っている分について対象とするという形で整理をさせていただきということで、交付の決定を受けております。

従いまして、第二期工事は昨年4月に契約をさせていただいたところで、土木及び機械、電気、3本工事がございましてけれども、交付決定は3月に受けておりますので、概ね今年度に行っている部分以降に関して、国庫の対象にさせていただきことで、最終的には交付決定を頂戴しているということでございます。

今後、その実績の確定の際に、改めて精査をさせていただきということで、国の方と調整を図らせていただいているという状況でございます。

濤川委員 そうしますと、第二期工事の規模は41億ぐらいと聞いておりますが、このうち、今年1月以降に始まった分の30%ぐらいの交付金がもらえるという理解でよろしいでしょうか。

菅原
事業担当課長 私どもとしては確かに30%というところで交付決定を頂戴しておりますので、概ね委員のお見込みとおり私どもとしては考えているところでございます。

明石委員長 そのほか質問等はございませんか。

阿部委員 電気事業の方で入札不調ということで、資料2の4ページ、①の新規開発の推進のところに入札不調でスケジュールを見直すというような記載がございましてけれども、組織力向上と地域貢献の女性用トイレ整備のところでも入札不調というような記載、ご説明をいただいておりますが、それぞれ規模も内容も全く違うようなところではあります、入札不調の要因はどういった部分が考えられるのでしょうか。

小西土木・施設担当課長

入札不調についてでございますが、女性用トイレにつきましては、今年度2回、入札不調になってございます。1回目不調後に再度条件等を見直しまして、2回目を発注しましたけれども、結局不調となったということでございます。

その原因としましては、主に入札参加予定者の手持ち工事が繁忙しているというのが一番だと思います。2つ目には、積算内容について、金額が折り合わない部分がある可能性がございます。その辺を踏まえて入札をしてきたところでございますが、それでも不調となったため、来年度は再度積算内容を見直し、発注時期も入札参加予定者が比較的手の空いている時期に前倒しするように取り組みたいと考えてございます。

続きまして、資料2の新規開発の基本設計についてでございます。

この業務につきましては、国から補助金をいただくために補助金交付申請手続きを行ってから発注手続きを行うこととなります。

そのために、補助金交付決定を受けてから発注手続きに入りましたけれども、入札不調となりました。通常ならば再度入札をかけるところでございますが、この調査の中には、現地の測量と地質調査が入ってございますが、調査予定地が積雪寒冷地でございまして、再度入札をかけても時期的に現地調査に入れないため、本年度は発注を取りやめたところでございます。来年度につきましては、発注方法を見直しながら、補助金も活用させていただこうと思っておりますが、発注内容については、今回は設計、地質調査、測量をまとめて一本で発注したところでございますが、切り分けを行い、現地調査の業務は早めに発注するなどして、来年度は取り組みたいと考えてございます。

明石委員長

そのほかございませんか。

渡邊委員

この9月ぐらいから企業局の見学等させていただきまして理解を深めている最中でございますので、そこまで踏み込んだ質問ということではないのですが、教えていただきたいこととして、資料1の1ページのA Iを活用した取組について、なかなかA Iというものが世の中独り歩きしていて、A Iありきで実際何に使うのか、というのが非常に当社としてもすごく苦勞してしまっていて、実際にこの取組でやるA Iの活用というのはどうということまで考えているのかということと、もう1つ、洪水後期の放流を有効に活用する取組みというものもまた面白いなと思ひまして、実際に試行したということで、どういった結果だったのかなというところを教えてください。

及川主任主査

A Iの話ですけれども、委員がおっしゃるとおり、実際に活用するところまで至ってないというのが実情です。

資料にもありますけど、我々はスマート保安導入計画という計画を立て

て、AIにつきましても、引き続き検討して導入を目指していくということとして、研究をしているところになっております。

続きまして、洪水後期の取り組みについてですが、こちらの方は一昨年から四十四田発電所、御所発電所で実証をしているところになっております。結果としましては、電力量が増えておりまして、今年度分につきましては、現在試算しているところとなっております。

高橋
施設総合管理
所長

試算中ということでございましたが、当事務所で試算しておりまして、概算でございますけれども、四十四田で今回は7月から9月の間で7、8回対象となる日がありましたが、合計で約300MWhという試算をしています。ただし、まだ検証をダム側と一緒にやっておりましたので、はっきりした数字ではないですが、1シーズンでそのぐらいの効果があったという状況でございます。

白井
経営企画課長

補足説明させていただきますと、令和4、5年度とすでに試行しておりますけれども、四十四田発電所については令和4年度で80MWh、令和5年度で154MWhということで、令和5年度の実績でいきますと月当たり900世帯の供給ということになってございます。御所につきましては、令和5年度から開始しておりまして、138MWhということで、月当たり530世帯という増電の実績となっております。

また、洪水後期放流の有効活用の考え方でございますけれども、従前ではですね、夏季の制限水位期間、ダムの制限水位期間においては大雨が降ったときのポケットを開けるために水位を下げて運用しております。

通常ですと、制限水位を超える雨が降った場合、その水位に下がるまでは、ずっとダム放流を続けますが、この洪水後期の放流につきましては、だんだん流量が少なくなっているという見通しがついた段階で、ダムの水位を上げながらも、まずは発電に有効に使うという運用をしているということで、その分が増電に繋がるという取り組みになってございます。

本来であれば水位が下がるまではずっとダム放流をし続けますけれども、上流側の流入量が少なくなってきたという見通しが立った時点で、ダム放流の方はストップをかけて発電に有効に使っていくという流れになっております。

渡部委員

電気主任技術者や、第1種水路主任技術者の資格試験、取得に向けて、局内の支援奨励による取得者数のさらなる確保育成を目指すところなんですけれども、5年後10年後必要とされている有資格者というのが大体どのくらいで、目標値の達成というのは現在可能という見込みと理解してよろしいのでしょうか。

松本特命参事
兼管理課長

有資格者数の目標に関しましては、将来必要な人員と、現在の職員の年齢層とかも踏まえながら、積極的な資格取得の方を進めておりまして、さ

きほど委員がおっしゃったとおり、将来にわたって必要となる資格者を確保できるような目標として、取組を進めているところでございます。

明石委員長 そのほかございませんか。

濤川委員 電気事業1 ページ目の下の方に太字で保守データ収集システムの導入と書いてございますが、機器の振動とか電流とかをビッグデータで測って、機器が劣化しているかどうかを測定するAI的な装置もございませうけど、こういったものを考えておられると理解してよろしいでしょうか。

及川主任主査 現在、収集を目論んでいるのは、発電所にあるプラントの電圧、電流、また温度など、まずは既存にあるデータを集める計画で進んでおります。
委員おっしゃるとおり振動なり、その他新たなセンシングデータにつきましても、一部、実証試験をしながら、こういうものも取っていけるかというのを、実験しているところになっております。

濤川委員 今ある機器については全世界的なビッグデータを取って、もちろん、各機器で使用条件が違うわけですけど、そういった中で故障の予兆を探るようなシステムもありますけど、今おっしゃったのはそういう内容と理解してよろしいでしょうか。

及川主任主査 今はデータを収集するところまで進んでおります。
先ほど言いましたとおり、スマート保安導入計画というのを我々も定めておりまして、今度はこの集めたデータをどのように予兆診断をしていくかということ、引き続き検討しているところになっております。

濤川委員 要は企業局内でのデータ収集ということですね。ありがとうございます。

明石委員長 その他ございますか。
それでは令和6年度上半期の経営評価についての審議はこれで終わりたいと思います。委員の皆様から出されたご意見等を参考に今後取組を進めていただきたいと思っております。

【 4 議 題 】

(2) その他(企業局事業の動向について情報提供)

明石委員長 その他としまして、事務局から企業局事業の動向について、情報提供をお願いします

経営企画担当菊池主任主査が下記資料に基づき、情報提供を行った。

参考資料3 水のチカラ～いわてeでんき～概要

明石委員長 ただ今の説明につきまして、ご質問、ご意見等はございませんか。なければ、全体を通してでも構いませんが、何かございますか。

渡部委員 先ほど聞きそびれてしまいました。資料2の11ページ、12ページ目のところで、働き方に関することが記されておりまして、ぜひ教えていただきたいのですが、企業局職員アンケートの結果に基づいているいろいろな取り組みがされているというお話がこちらに書かれておりまして、どのような問題意識であったりとか背景のもと、どのような取り組みをしているのか、労働時間であったりとか休暇の取得等々、ぜひ詳細について教えてください。

松本特命参事
兼管理課長 働き方改革ですけれども、働き方改革推進会議というものを幹部職員で開催しておりまして、そこでそれぞれの年度の取り組みや、働き方等について様々策定しまして取り組みを進めているところです。

休暇とか超過勤務時間とか毎年実績踏まえまして、そこから少しずつ減らしていこうということで取り組みを進めているところですけれども、具体的な取り組みについて説明いたしますと、毎年度人事異動により人の入れ替えがありますので、今年度も働き方改革ロードマップや昨年の改善実績とかそういったものを本庁と出先の方で説明会を開催させてもらっています。

そこでまず職員一同、同じような方向性を持って取り組んでいこうということでやっております。

中身としては知事部局と足並みをそろえているものもありまして、その中で、例えば在宅勤務の対象拡大、そして勤務間インターバル制度試行を今年度から始めているところです。

また、企業局独自として今取り組んでいるところは、資料でも紹介しております女子トイレであるとか、無線LANの整備もありますけれども、その他、例えば、今年は改善提案の募集しておりまして、それぞれの現場の方でもいろいろな問題意識を持って活動しておりますので、こういったものを改善すればよろしいのではないかと提案の募集を受けまして、1つつでも改善できるものは進めていきたいと思っております。

また、働き方改革に熱心に取り組んでいる民間企業の方を講師に迎えて12月に研修会の開催を予定しているところです。

明石委員長 そのほかご質問、ご意見ございませんか。なければ、本日予定した議題は以上となります。スムーズな議事進行にご協力いただきありがとうございます。それでは、残りの進行は、事務局にお返しいたします。

白井
経営企画課長 本日は貴重なご意見、ご助言を賜り誠にありがとうございました。いただいたご意見等を参考にさせていただきながら、業務や課題に取り組み、中期経営計画を推進していきたいと思っております。本日の審議に関する議事録

は、後日各委員に照会のうえ、ホームページに公開いたしますので予めご了承ください。最後に、閉会に当たりまして、局長から一言御礼を申し上げます。

中里局長

本日は令和6年度上半期の経営評価ということで、ご審議をいただきました。ありがとうございました。

企業局の仕事は、電気事業、工業用水道事業ともに、専門的な中身が多くて、専門職員がそろっておりますので、そういうこともあって、どうしても専門用語をそのまま使ってご説明というようなこともございますので、これはどういうことですかということ、遠慮なくどんどん質問していただければというふうに思っております。

本日は様々ご質問、ご意見をちょうだいしました。先ほど働き方改革推進会議がありますということを説明いたしましたが、企業局の中にも、こういった働き方改革について検討、評価を審議する会議もございます。

そういった会議で、職員は一生懸命、企業局を良くしようということで検討しておりますが、外からの目で、委員の皆様からご質問ご意見を頂戴すると、新しい気づきというものもございますので、今後とも、ご意見を賜りながら進めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

白井
経営企画課長

それでは、これを持ちまして令和6年度第2回岩手県企業局経営評価委員会を終了いたします。ありがとうございました。